

第 39 回 F M 桐生番組審議会議事録

【日時】平成 25 年 1 月 22 日（火曜日） 19 時 30 分から 20 時 30 分

【場所】桐生ガスプラザ 3 階会議室

【出席者】番組審議委員：宝田恭之、市川邦夫、飯野マリエ、岡野紀子

F M 桐生：小保方貴之、宮坂敦子

【欠席】番組審議委員：山田陽子、星野尚香

F M 桐生：塩崎泰雄、坂田道信

1、開会 議長 宝田恭之

2、挨拶

3、資料等配布物の確認

1. 次第

2. 次回試聴用 CD ラジオドラマ「カントリータウン」

4、報告事項

a) FM 桐生開局 5 周年ライブ報告 1 2 月 9 日（日）

桐生ゆかりのジャズシンガー、山中千尋さんのライブ盛況のうちに終了

b) エリア拡大の進捗状況について

- ・桐生市、みどり市ともに進展、5 月着工 6 月電波発信予定
- ・アンテナ設置場所決定。契約保守運用管理について検討中
- ・防災無線の設置維持費とラジオの場合を比較した場合、ラジオの方が低コスト
- ・エリア拡大が可能ならば、桐生市では防災ラジオの導入を検討中
- ・これに伴い、社員を増員予定

c) 新番組表発行について（次回は 4 月発行、広告募集）

- ・facebook には告知している。正式には桐生タイムス誌に掲載予定

d) 「みんラジ」ワークショップ開催

- ・FM 桐生の被災体験を基に、いざというとき情報発信ができる、力のある組織と人材を育てていく。ワークショップ
- ・FM 桐生は、普段は誰もが楽しめる広場であり、いざというときは情報が集まってくる場所でありたい。

e) その他

5、聴取番組 毎週月曜日 14:30-14:59 「Music Selection」

市民パーソナリティー講習会参加者とインターンシップで来局した学生が、自分の好きな曲を選んで音楽がベースの番組を制作。

6、審議事項

a) 聴取番組について委員より意見

- ・音楽にはうといので、パーソナリティーの話はわかるが、曲はわからない。この音楽に明るい人には楽しい番組なのであろうというのわかる。
- ・自分は PC とかブログに慣れていないせいか、心地が悪いわけではないが、馴染みがない
- ・逆に考えれば、我々がかけている曲も若い人にはぴんときない。仕方ない
- ・音楽にはうといので、パーソナリティーの話はわかるが、曲はわからない。この音楽に明るい人には

楽しい番組なのであろうというのわかる。

・新しいジャンルのとびらがFM桐生でひらいた

【解説】10代の製作者選曲が、アプリケーションソフトで作成した曲（ボーカロイド）なので、年代によっては馴染みがない

メンバーは10代から50代までいる。パーソナリティーの中には、お子さんが成長するまでまったく触れたことのなかった曲に触れるようになった方もいる

7、その他

a) 番組表はどのように配布しているのか、折込みの方が広く目に触れる機会があるのではないか
コストの点でできなかったが、検討したい

b) 日曜の番組で親子で聴いていたら、大人向けの番組だった。夜間の番組の再放送だが、昼間の時間帯に流すのは不適當な内容だった。再検討を

反省して検討します

e) パソコン初心者にもわかりやすく親しめる番組があったのが良かった

f) 7局共同でスキー場の情報番組があり、リフト券のプレゼント企画があったが、今回は多くの応募者があり、聴衆が増えていると感じた

g) 店舗でいつもFM桐生を流してくれているところがある、番組内で紹介できないかお知らせください。そういったところでスポンサーになってくれたところもある。
たいへんありがたい。

h) 番組審議委員の出席人数が少ない、

i) 他局に電話で出演した。メールで対応してその場で話すのは、スタジオ出演より気楽
街頭では出演依頼してもなかなか快諾してくれない。アプローチの仕方を考えたい

8、次回開催日程

平成25年3月21日 火曜日 19時30分 ガスプラザ3階会議室

9、終了